



平成20年救急・火災報告

松前消防署での、平成20年中の管内における出動件数をまとめました。

救急



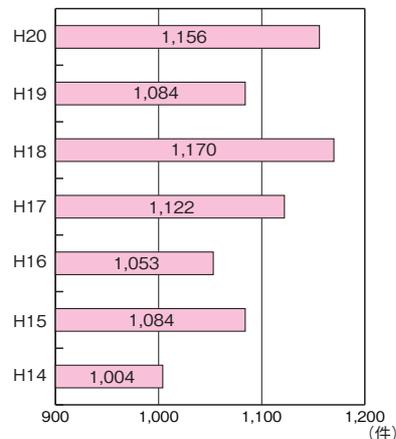
平成20年中、松前消防署には1,267件の救急出動要請がありました。そのうち、松前消防署の救急車の出動件数は1,156件（不搬送26件含む）で、残りの111件については、伊予消防署や砥部消防署から応援で駆けつけた救急車により搬送されています。

救急出動の内訳は、急病708件、交通事故134件、一般負傷150件、運動競技7件、火災によるもの2件、その他129件となっています。

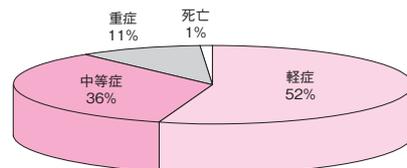
傷病の程度では軽症52%、中等症36%、重症11%、死亡1%となっていますが、依然として軽症の割合が全体の半数以上を占めており、安易な救急車の利用が多数を占めている結果となっています。これは、生命の危険があり1分1秒でも早く救急車が必要な方への対応に支障が出る可能性があります。事故や病気で救急車以外に搬送の手段がない時や、症状からみて緊急性がある場合は、迷わず119番してください。そうでない場合は、119番する前に自家用車やタクシーが利用できるか、今一度考えてみてください。

尊い命を救うために、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

年別救急出動件数推移表



平成20年中の救急搬送者傷病程度内訳



死亡……初診時において、死亡が確認されたもの
 重症……3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症……入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽症……入院加療を必要としないもの

火災



平成20年中の火災件数は10件、火災損害額は2,300万円（仮）となっています。内訳は、建物火災7件、車両火災2件、その他火災1件で、火災による死者や負傷者はいませんでした。

また、救助出動を含んだその他の出動は215件となっており、そのうち救急隊支援出動は118件となっています。

● 女性消防団の「ちょっといい話」 ● <第30回>

『新型インフルエンザのこと、知ってますか？』

A：ねえ、最近話題の「パンデミック」って知ってる？

B：もちろん！ 感染症や伝染病の世界的大流行のことやろ！ 今、新型インフルエンザウイルスのパンデミックの危険レベルがWHO「フェーズ3」なんよね。「フェーズ6」がパンデミック発生ってことなんよね。

A：カタカナばかりで難しいけん、本当に理解している人は少ないかもしれんね。ほやけど、新型インフルエンザ・パンデミックが発生したら、病院は満杯、公共交通機関はマヒして電気やガスも寸断される可能性もあるんよ。感染者は日本だけでも最大2,500万人、入院者が200万人、死者は64万人出ると予想されとんよ！

B：ええ～、怖いねえ、すごい不安になるね！

なんか対策はないん？

A：感染するリスクを少しでも減らすために、人ごみを避けることや、やむを得ず外出する場合は「不織布マスク」を着用する。それから、うがいと手洗いの励行。これらは、正しい方法で使用しないと効果がないから、その使い方を調べることに、「パンデミック」に対しても最悪の事態を想定して、今から正しい情報を集めて、可能な準備を始めることが大事なんよ。

B：よし、一家を守る主婦として、今からできる準備はしておこう！

※ WHO…世界保健機関